

教育福祉学演習

[演習] 1年・2年 前後期 選択 30時間 2単位

《担当者名》福間 麻紀 [m-fukuma@hoku-iryo-u.ac.jp] 近藤 尚也 [n-kondo@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

教育福祉学特論・演習の学修をもとに、演習形式により文献検索・講読・討論をとおして、教育福祉に関する諸課題及び自ら設定する課題について深化させ、課題研究に発展させる。あわせて、教育福祉に関する課題に関するフィールドワークを行い、文献で示されている事項についての現状などを的確に把握し（検証）、自らの諸課題についての知見及び問題解決についての糸口を求める。

【学修目標】

授業終了後には、次に示されたことができるようになる。

- 1)今日の社会における教育福祉に関する諸課題が生じている要因を的確に指摘し、分析することができる。
- 2)自らの学修課題を明確にすることができる。
- 3)上記の問題を解決する糸口を掴むことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	授業のガイダンス	この授業の進め方について説明する。	福間 近藤
2 5	教育福祉に関する課題についての研究論文の講読	課題に関する先行研究の検索、講読、整理、要約などを行う。	福間 近藤
6 12	教育福祉に関する課題についてのフィールドワーク	課題に関するフィールドワークの設定、計画、実施を行う。	福間 近藤
13 14	フィールドワークの結果の分析・検討	課題に関するフィールドワークの結果を分析、検討する。	福間 近藤
15	フィールドワークの結果のまとめ	課題に関するフィールドワークの結果を検討、まとめる。	福間 近藤

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

授業の取り組み状況（参加、準備、意欲、態度）80% 課題の提出20%

【教科書】

必要に応じて適宜指定する。

【参考書】

必要に応じて適宜紹介する。

【学修の準備】

課題に関する文献を収集、講読し、報告すること。

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、臨床福祉学における高度な専門性と研究能力を修得するという臨床福祉学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。